

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひまわりばんび				
					公表日	R 8年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	・子どもの人数が増えているので狭くなっていると思う。	・狭いが子どもたちが楽しく過ごせるように工夫をしている。異年齢児の関わりを経験できたり、目が行き届く利点もある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			・限られた空間ではあるが、子どもたちにとってはわかりやすい環境設定になっていると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			・日常の掃除以外にも玩具の消毒を行い、破損等してないか安全チェックをしている。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		・その時の職員配置にもよるが（休憩、会議時等）、なるべく子どもたちが自由に行き来できるような環境設定にしている。
業務 改 善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	・パートさんだと勤務時間が短いので全職員参加は難しい。	・会議の議事録を掲示して共有するようにしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		・本アンケート結果を元に検討会議を開催した。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		・積極的に研修や地域の講演会等に参加している。今後は他事業所の見学もさせてもらう予定。
適 切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			・変化する保護者様の要望を聞き取り、作成に当たっている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			・検討会議を実施している。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・月ごと担当日が決められていて、それぞれがアイデアを出して活動を行っている。	・多職種の職員が得意分野を生かし、幅広い内容の活動を提供できている。

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			・子どもによって個別で取り組む方が良かったり、逆に友達と一緒にの方が良かったりもあるので、その子に合わせて参加できるように支援している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		・開始前は活動や送迎車の準備。開始と共に子どもが通所してくるのでなかなか話し合う場を設けることができないが、朝の会の時に子どもと職員に向けて活動内容を知らせている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		・終了後、会議を開催。雇用形態の違いから全職員に参加してもらうことは難しいが、議事録を掲示。全職員に目を通してもらうように促している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			・必要に応じて連絡、会議を開催し、情報交換、共有を図るようにしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・必要に応じて連絡、会議を開催し、情報交換、共有を図るようにしている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・必要に応じて連絡、会議を開催し、情報交換、共有を図るようにしている。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3			・必要に応じて連絡、会議を開催し、話し合う機会を設けている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		・園との交流はなかなか難しいが、系列の事業所、地域の介護施設等の交流は検討している。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			・送迎時にその日の様子を伝える他、ご家庭や園での様子を伺うようにしている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			・市から情報が送付されてきた際は掲示、配布をし、情報提供をするようにしている。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			・契約時に説明している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			・送迎時や担当者会議時に確認をするようにしている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			・子どもの現状と課題を伝えた上で、支援内容の説明をしている。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			・送迎時に相談があれば応じ、必要に応じて関係機関に連絡して担当者会議の開催を求める。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		・直接的な兄弟の支援は行っていないが、相談には応じている。保護者交流会はこれまでにも検討したことがあるが、敬遠される方もいるので難しい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			・送迎時以外にもLINE、電話、あらゆる手段で相談に応じている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			・月に1回お便りを配布し、活動の概要や行事予定、コラムなどを掲載している。毎日の連絡帳、不定期でブログも発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			・鍵付きの棚で保管。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			・外国人のご利用者様の増加に伴い、コミュニケーションの難しさを感じることがある。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		・事業所が少ない為、実施できていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		・各マニュアルは策定している。保護者様に説明はできていないが、緊急時の対応は契約時に、書類の恐れがある際はその都度事前にLINEでお知らせをしている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		・BCPは策定している。定期的に避難訓練を実施。職員間の周知を目的に、子どもたちが楽しく参加できるように工夫している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		・現在該当児なし。服薬、予防接種等、保護者様より報告があった際は、職員間で共有している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		・現在アレルギー児童なし。あった際は全職員に対応を共有する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			・安全にお預かりすることが最優先。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			・ヒヤリハットは掲示し、全職員に共有できるようにしている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		・研修を実施。全職員参加することは難しい為、議事録。目を通してもらうようにしている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			・契約時に保護者に説明し、同意書を貰っている。